

松江市立天文台～8月の天文教室～

2012年 8月22日

8月の星空



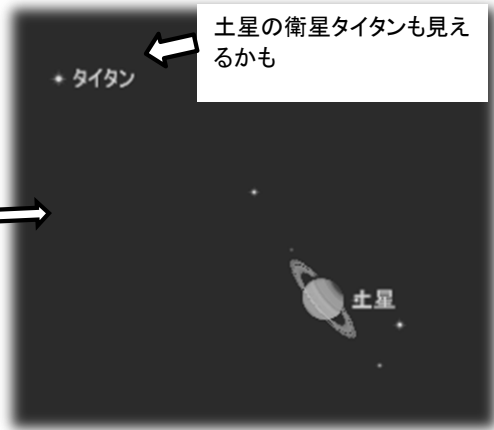
8月の中旬午後9時頃の星空です。月や惑星は8月22日の位置を表示しています。実際の空を見ながら星を探すときは見る方向を下にして見ます。

まだまだ暑い日が続いていますが、空は夏の入道雲から秋のいわし雲に変わり初めています。夜も少し長くなって、風もちょっぴり涼しくなってきました。

日が暮れたら西の空に注目してみましよう。土星と火星が仲良く低い空で輝いています。8月22日は月もそばに並んでとてもにぎやかな光景です。

真上を見上げると、夏の大三角が見られ、南の空にはさそり座がS字の星の並びを見せてくれるなど、まだしばらくは夏の星座が楽しめます。また、明かりの少ない郊外では、さそり座付近から夏の大三角の方向に天の川が見られます。

8月22日は月と火星と土星が接近



★土星

土星は太陽からの距離が、地球の9.6倍も遠いところにある惑星です。

太陽の周りを約30年かけて回っています。

大きさは、地球の約10倍の半径があります。

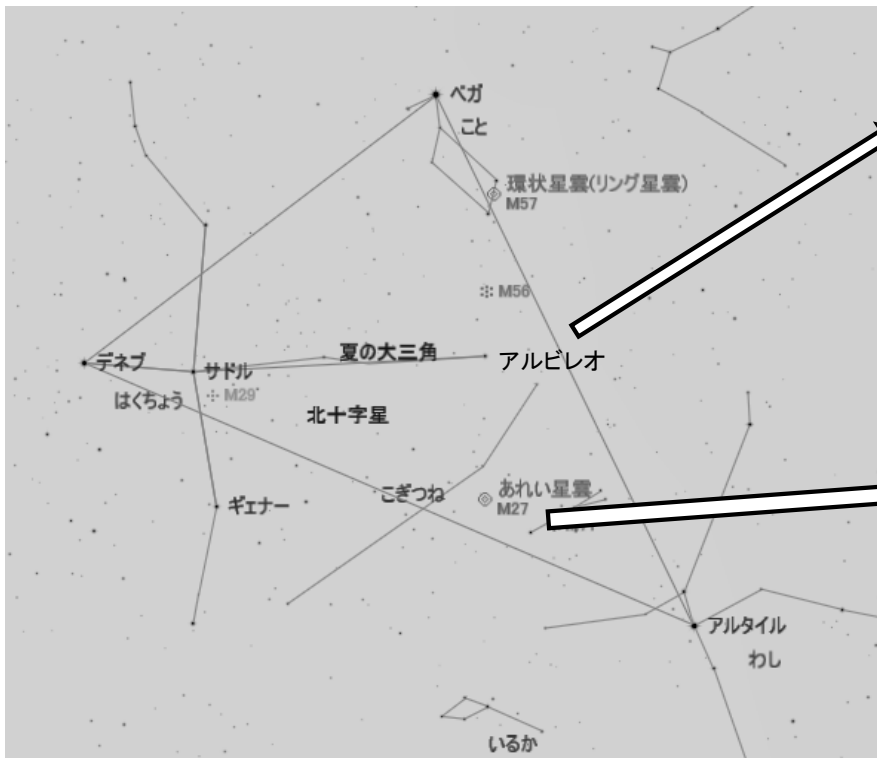
★月

今夜の月は月齢4.5で、これから日を追って月は少しずつ丸くなり、月末の31日には満月になります。

月は表面の地形が肉眼でも見える唯一の天体ですが、望遠鏡で見ると明るくクレーターが多く見える部分(山脈)と、暗く平坦に見える部分(海)の違いがよくわかります。

※実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

夏の大三角



アルビレオ(はくちょう座β星)

はくちょうのくちばしにあたるこの星は、肉眼では一つの星ですが天体望遠鏡で見ると、オレンジ色の明るい星に、宝石のブルーサファイアのような青い星がよりそう美しい二重星です。その美しさから空の宝石と呼ばれています。

M27(あれい星雲)

はくちょう座のとなり、こぎつね座にあるガスの星雲で、鉄アレイの形の似ているのでその名が付けられたと言われています。

小型の望遠鏡でも、おせんべいを両側からかじったような形が楽しめます。

M27

